

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月2日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901548		
法人名	有限会社 シャイニング		
事業所名	グループホーム「シャイニング」		
所在地	北海道旭川市永山1条1丁目2番39号 (電話) 0166-49-5228		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年12月2日	評価確定日	平成21年12月29日

【情報提供票より】(平成21年11月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年3月24日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	13人, 非常勤 5人, 常勤換算 9.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600円	その他の経費(月額)	20,000~28,000円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 150円
	または1日当たり		1,350円

(4) 利用者の概要(11月18日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	6名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 82.44歳	最低	66歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山循環器科クリニック
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「子育て支援」事業の展開で地域の子供達との交流や地域住民が参加する「夏祭り」の開催、町内会婦人部がボランティアでバザーに参加するなど地元の人々との交流に積極的に努めている2ユニットのグループホームです。また、ヒヤリ・ハットの取り組みでは、データ分析による事故の再発防止策の検討や未然防止に努め身体拘束廃止委員会と共に家族の理解を得る活動が行われています。毎月、給食会議を開催して、一人ひとりの検食による嗜好の把握や専門の調理士を配置し、食事が楽しみになるような工夫が行われています。施設長は、地域の社会福祉協議会の活動やケア研究会事務局等で研修会を企画し、地域のケアサービスの質の向上に取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、同業者との交流する機会を多くすることが改善点として挙げられていましたが、ケア研究会事務局で同業者との定期的な研修の共催や地区社会福祉協議会会長を引き受けホームの訪問を積極的に推進し、サービスの質を向上させていく取り組みが実践されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して新たな気づきや改善の機会として利用されケアサービスの質の向上に活かされています。また、外部評価の結果については、家族会や運営推進会議に報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催され主な主題は 入居者利用状況、ホーム行事予定について SOSネットワーク事業の活用について 身体拘束廃止委員会の取り組みについて 消防法改正によるスプリンクラー設置について ホーム主催の「夏祭り」実施について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 苦情受付窓口を明示し、家族、来訪者等が苦情や意見等言い表す機会を設けています。また、毎月「シャイニング新聞」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、新人職員の紹介など掲載して情報提供していたり、来訪時には意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに努め、そこでの意見を運営に反映させています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区社会福祉協議会の会長を引き受け、地域の人達の見学会開催や町内会役員では、地域の行事等活動に協力するなど地元の人々との交流・連携に努めています。また、地域の芸能ボランティアの受け入れや地元の人達のお誘いでサクランボ狩りや大根掘りを一緒に楽しむなど日常生活を通じた交流が実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践に向けて毎朝のミーティング時等を通じて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区社会福祉協議会の会長を引き受け、地域の人達の見学会開催など地元の人々との交流・連携に努めている。また、地域ボランティアの受け入れや地元の人達のお誘いでサクラボ狩りや大根掘りを一緒に楽しむなど日常生活を通じた交流が実践されている。		特筆すべき点として、町内会、地区の社会福祉協議会の役員を引き受け地元の人々との連携が行われている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して新たな気づきや改善の機会として利用されケアサービスの質の向上に活かされている。また、外部評価の結果については、家族会や運営推進会議に報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に開催されている。委員は、利用者、家族会役員、町内会長、民生委員、知見を有する有識者、理事及び管理者・職員で構成され消防法改正によるスプリンクラー設置など具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後は、年6回を目安に開催される運営推進会議議事録を整理されることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者や包括支援センター職員との連携の重要性について理解し、研修会参加や日々の業務を通じて連携に努めている。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「シャイニング新聞」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、新人職員の紹介など掲載し、情報提供している。また、金銭管理についても毎月報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付窓口を明示し、家族、来訪者等が苦情や意見等言い表す機会を設けている。また、毎月「シャイニング新聞」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、新人職員の紹介など掲載して情報提供している。</p>		<p>今後は、家族や来訪者等が意見等言い表すことが出来るように「苦情受付箱」の設置が期待されます。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「シャイニング新聞」で職員の新人紹介記事を掲載して、家族に情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の段階に応じてケア研究会やグループホーム連絡協議会、市や包括支援センターの研修会に参加し、その後報告会も毎月の職員会議で行われている。</p>		<p>特筆すべき点として、ヒヤリ・ハットの取り組みでは、データ分析による事故の再発防止策の検討や未然防止に努めている。今後は、利用者一人ひとりのデータ分析をされると更に成果が期待できます。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ケア研究会事務局で同業者との定期的な研修の共催や地区社会福祉協議会会長を引き受けホームの訪問を積極的に推進し、サービスの質を向上させていく取り組みが実践されている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、入居前には利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、畑作業などへの支援や散歩、買物、花見や公園・紅葉見物などのドライブ等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>散歩や買い物、ドライブや外食など外出の機会を多く作ったり、畑作業などの趣味への支援、給食会議で食の嗜好の把握など本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		<p>介護記録の帳票の整理の検討が行われているので、その実践に期待します。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院の支援や散歩、買い物、外食など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、利用者それぞれのかかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、状態変化などについても医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、指針を定め職員間で共有される取り組みが行われている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけなど取り組まれ、記録等の個人情報の扱いについても、法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや意向を尊重して、散歩や買い物、ラーメンや喫茶店などの外食、畑作業や食事の準備・後片付けなど支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように、毎月給食会議を開催して、一人ひとりの嗜好の把握が行われたり、専門の調理士を配置するなど工夫した取り組みが行われている。		特筆すべき点として、施設長は食について特にこだわりを持ち、食材の吟味や給食会議を開催している。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安にゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら畑での作業や食事の準備・後片付け、買い物や散歩など気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	前庭に東屋が作られ日光浴が楽しめるように工夫されている。また、一人ひとりのその日の希望にそって、買い物、散歩など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、身体拘束廃止委員会開催で職員間で共有されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されている。また、ホットライン・消火設備についても自主点検が実施され対策されている。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>日常生活に於ける具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについても給食会議で検討されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって不快な臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、中庭には東屋が作られ日光浴や季節感、気分転換ができるように工夫されている。天窓から採光が差し込み廊下や居間は明るく、リビングには椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。